



左：修復に木曾漆器が使われた名古屋城本丸御殿 右上：栃木県小山市 右下：愛媛県内子町（八日市護国重要伝統的建造物群保存地区）

あの街から学ぶ しおじりの明日

令和元年度は、総務生活・福祉教育・産業建設3つの常任委員会が、次のとおり各地の先進事例の視察を行いました。
※詳細は順次ホームページに掲載します。

総務生活委員会

令和元年10月2日～4日

ICTを活用した災害対策を構築
（宮城県石巻市）

東日本大震災の経験をもとに、早期の情報収集や提供のためICTを活用して災害情報を一元的に集約し、全ての市民に配信可能な情報システムを構築した。また、最新のオペレーションシステムを備えた災害対策の拠点となる防災センターを建設し、一層の市民の安全確保に努めている。

SDGs（エスディージーズ）の取り組み
（宮城県東松島市）

SDGsとは2015年9月の国連サミットで採択され、加盟国がそれぞれ設定した持続可能な開発目標である。この世界基準に倣い震災復興により整備された都市基盤と震災時に発揮された市民協働の力を活かし、2030年のあるべき街の姿を「全世代に住み良い

まち」として施策を推進している。



宮城県石巻市

機能別消防団員制度
（栃木県小山市）

「機能別消防団員制度」は、一般的に基本消防団員の欠員等が生じた場合、補充するものであるが、小山市では消防（団）力強化のため、この制度を導入していることが特色である。機能別の種類は市役所、大学生、消防団OB、各事業所などで構成されており、こうした取り組みにより、市民消防意識の向上、連帯感の醸成などが図られている。